

2019年4月期 2Q決算説明会

株式会社 アインホールディングス
2018年12月7日

2Q決算概要



連結P/L

売上高はリテール事業の既存店伸長等が寄与したものの、診療報酬改定の影響が大きく、前期比99.6%、計画比99.6%となった。経常利益は売上高の計画未達により前期比81.0%、計画比96.3%となった。

(単位：百万円)	18/4期2Q 実績	19/4期2Q 計画	19/4期2Q 実績	前期 増減額	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	132,342	132,350	131,781	▲561	99.6	99.6
売上総利益	22,390	22,300	21,413	▲977	95.6	96.0
売上比 (%)	16.9	16.8	16.2			
販売管理費	14,022	15,260	14,681	659	104.7	96.2
売上比 (%)	10.6	11.5	11.1			
営業利益	8,367	7,040	6,731	▲1,636	80.4	95.6
売上比 (%)	6.3	5.3	5.1			
経常利益	8,665	7,290	7,018	▲1,647	81.0	96.3
売上比 (%)	6.5	5.5	5.3			
親会社株主に帰属 する四半期純利益	4,418	3,740	3,639	▲779	82.4	97.3
売上比 (%)	3.3	2.8	2.8			
1株当たり 四半期純利益 (円)	134.91	105.57	102.73	▲32.18	76.1	97.3

▶ 単位未満切り捨て



ファーマシー事業（連結）

売上高はM&Aを含む78店舗を新規出店したものの、出店時期の遅れで診療報酬改定の影響を吸収できず、前期比98.6%、計画比99.8%となった。セグメント利益は売上高の計画未達により計画比90.2%となった。

(単位：百万円)	18/4期2Q 実績	19/4期2Q 計画	19/4期2Q 実績	前期 増減額	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	117,991	116,600	116,376	▲1,615	98.6	99.8
売上総利益	16,541	15,950	15,036	▲1,505	90.9	94.3
売上比 (%)	14.0	13.7	12.9			
販売管理費	7,160	7,570	7,419	259	103.6	98.0
売上比 (%)	6.1	6.5	6.4			
営業利益	9,380	8,380	7,616	▲1,764	81.2	90.9
売上比 (%)	7.9	7.2	6.5			
セグメント利益	9,702	8,730	7,875	▲1,827	81.2	90.2
売上比 (%)	8.2	7.5	6.8			
店舗数	1,045	1,069	1,081	36	103.4	101.1

- ▶ 単位未満切り捨て
- ▶ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っている
- ▶ 処方箋枚数 101.9%（前期比）
- ▶ 処方箋単価 97.1%（前期比）



リテール事業（連結）

売上高は既存店が伸長したものの、相次ぐ自然災害の影響を受け、前期比108.5%、計画比98.0%となった。セグメント利益は仕入れの見直し及びコスト低減により、前期比338.7%、計画比121.1%となった。

(単位：百万円)	18/4期2Q 実績	19/4期2Q 計画	19/4期2Q 実績	前期 増減額	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	11,566	12,800	12,544	978	108.5	98.0
売上総利益	4,320	4,780	4,698	378	108.8	98.3
売上比 (%)	37.4	37.3	37.5			
販売管理費	4,177	4,330	4,191	14	100.3	96.8
売上比 (%)	36.1	33.8	33.4			
営業利益	143	450	506	363	353.8	112.4
売上比 (%)	1.2	3.5	4.0			
セグメント利益	163	456	552	389	338.7	121.1
売上比 (%)	1.4	3.6	4.4			
店舗数	50	52	52	2	104.0	100.0

- ▶ 単位未満切り捨て
- ▶ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っている
- ▶ 客数 101.8%（前期比）
- ▶ 客単価 106.5%（前期比）



連結B/S

ネットキャッシュは39,624百万円、自己資本比率は53.4%となり、健全な財務体質を維持している。

(単位：百万円)

18/4期末			
資産の部		負債の部	
流動資産	94,557	流動負債	69,950
現預金	63,779	短期借入金	6,717
		リース債務	443
固定資産	88,718	固定負債	16,696
投資有価証券	2,375	長期借入金	11,511
		リース債務	632
繰延資産	103	純資産計	96,733
資産合計	183,380	負債・純資産合計	183,380

(単位：百万円)

19/4期2Q末			
資産の部		負債の部	
流動資産	91,323	流動負債	72,397
現預金	57,337	短期借入金	8,143
		リース債務	367
固定資産	93,159	固定負債	13,631
投資有価証券	2,254	長期借入金	8,660
		リース債務	541
繰延資産	81	純資産計	98,535
資産合計	184,564	負債・純資産合計	184,564

ネットキャッシュ 44,474

自己資本比率 (%) 52.7

ネットキャッシュ 39,624

自己資本比率 (%) 53.4

▶ 単位未満切り捨て

▶ ネットキャッシュ = 現金及び預金 - 有利子負債 (短期・長期借入金 + リース債務)



資産の部

M&Aを含む新規出店により、総資産は18/4期末より1,184百万円増加した。

(単位：百万円)	18/4期2Q末	18/4期末	19/4期2Q末	増減額	
現金及び預金	57,059	63,779	57,337	▲6,442	M&Aによる減少
売掛金	10,250	10,466	10,835	369	
棚卸資産	12,337	9,580	12,088	2,508	新規出店等による増加
流動資産合計	90,411	94,557	91,323	▲3,234	
建物・構築物	15,180	14,934	15,732	798	
土地	9,784	10,041	10,376	335	
リース資産	1,040	824	762	▲62	
有形固定資産合計	27,931	27,853	29,339	1,486	
のれん	39,494	38,011	40,993	2,982	M&Aによる増加
リース資産	13	11	11	▲0	
無形固定資産合計	41,569	40,132	43,064	2,932	
投資有価証券	2,438	2,375	2,254	▲121	
繰延税金資産	3,255	3,772	3,915	143	
敷金・保証金	10,697	11,339	11,540	201	
投資その他の資産合計	20,383	20,732	20,755	23	
固定資産合計	89,884	88,718	93,159	4,441	
繰延資産計	125	103	81	▲22	
資産合計	180,420	183,380	184,564	1,184	

▶ 単位未満切り捨て ▶ 投資総額（有形及び無形固定資産＋敷金・保証金）は2,770百万円 ▶ 増減額：18/4期末・19/4期2Q末比較



負債・純資産の部

借入金の返済等により、負債合計は18/4期末より618百万円減少した。

(単位：百万円)	18/4期2Q末	18/4期末	19/4期2Q末	増減額
買掛金	40,326	38,728	42,131	3,403
短期借入金	7,457	6,717	8,143	1,426
リース債務	520	443	367	▲76
流動負債合計	69,944	69,950	72,397	2,447
長期借入金	14,608	11,511	8,660	▲2,851
リース債務	834	632	541	▲91
固定負債合計	19,697	16,696	13,631	▲3,065
負債合計	89,641	86,646	86,028	▲618
資本金	21,894	21,894	21,894	-
資本剰余金	20,500	20,500	20,500	-
利益剰余金	48,120	54,268	56,137	1,869
株主資本合計	90,514	96,662	98,530	1,868
純資産合計	90,779	96,733	98,535	1,802
負債純資産合計	180,420	183,380	184,564	1,184

借入金の
返済

▶ 単位未満切り捨て

▶ 増減額：18/4期末・19/4期2Q末比較



連結CF

新規出店及びM&A等により、投資活動によるキャッシュフローは5,860百万円の支出となった。

(単位：百万円)	18/4期2Q	19/4期2Q	増減額
営業キャッシュフロー	6,886	4,402	▲2,484
税金等調整前四半期純利益	8,104	6,668	▲1,436
減価償却費	1,735	1,795	60
のれん償却額	1,983	2,007	24
売上債権増減額 (▲は増加)	▲92	1,030	1,122
棚卸資産増減額 (▲は増加)	▲583	▲1,953	▲1,370
未収入金増減額 (▲は増加)	1,265	▲364	▲1,629
仕入債務増減額 (▲は減少)	806	994	188
投資キャッシュフロー	▲1,279	▲5,860	▲4,581
有形・無形固定資産取得による支出	▲1,247	▲1,923	▲676
子会社株式取得による支出	▲418	▲4,018	▲3,600
財務キャッシュフロー	21,769	▲5,183	▲26,952
株式の発行及び自己株式の売却による収入	27,635	-	▲27,635
現金及び現金同等物増減額	27,376	▲6,642	▲34,018
現金及び現金同等物期末残高	56,611	56,590	▲21

▶ 単位未満切り捨て



事業価値分析

	18/4期2Q	18/4期	19/4期2Q	増減
自己資本比率 (%)	50.3	52.7	53.4	3.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	152.2	141.0	169.7	17.5
株価収益率 (倍) PER	28.72	23.54	43.02	14.3
1株当たり当期純利益 (円) EPS	134.91	310.08	102.73	▲32.18
株価純資産倍率 (倍) PBR	3.02	2.67	3.18	0.16
1株当たり純資産 (円) BPS	2,560.59	2,729.44	2,780.64	220.05
総資産利益率 (%) ROA	2.6	6.2	2.0	▲0.6
株主資本利益率 (%) ROE	5.9	13.5	3.7	▲2.2
EBITDA (百万円)	12,086	27,156	10,534	▲1,552
EV/EBITDA倍率 (倍)	19.95	7.90	26.00	6.05
ネットD/Eレシオ (倍)	▲0.37	▲0.46	▲0.40	▲0.03
ネットキャッシュ (百万円)	33,637	44,474	39,624	5,987
株主価値 (百万円)	274,771	258,928	313,559	38,788
時価総額 (百万円)	274,563	258,620	313,178	38,615

▶ 単位未満切り捨て ▶ 増減：18/4期2Q・19/4期2Q比較

▶ ネットD/Eレシオ = (有利子負債 - 現金及び預金) / 株主資本

▶ 株主価値 = EV (時価総額 + 有利子負債 - 余剰現金) - ネット有利子負債

▶ 時価総額：自己株式を除く

▶ 時価総額算出株価：18/4期2Q末7,750円 (17/10末) 18/4期末7,300円 (18/4末) 19/4期2Q末8,840円 (18/10末)

▶ ネットキャッシュ = 現金及び預金 - 有利子負債 (短期・長期借入金 + リース債務)



19/4期計画（連結）

19/4期はファーマシー事業100店舗、リテール事業7店舗の新規出店により、売上高は前期比101.7%、経常利益は診療報酬改定の影響により前期比89.4%を見込む。

(単位：百万円)	17/4期 実績	18/4期 実績	19/4期 計画	増減額	前期比 (%)
売上高	248,110	268,385	272,870	4,485	101.7
売上総利益	42,092	47,993	48,040	47	100.1
売上比 (%)	17.0	17.9	17.6		
販売管理費	27,529	28,370	30,540	2,170	107.6
売上比 (%)	11.1	10.6	11.2		
営業利益	14,563	19,622	17,500	▲2,122	89.2
売上比 (%)	5.9	7.3	6.4		
経常利益	15,080	20,129	18,000	▲2,129	89.4
売上比 (%)	6.1	7.5	6.6		
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,949	10,567	9,260	▲1,307	87.6
売上比 (%)	3.2	3.9	3.4		
1株当たり 当期純利益 (円)	250.71	310.08	261.38	▲48.70	84.3
年間配当金 (円)	50.00	50.00	55.00	5.00	110.0

▶ 単位未満切り捨て ▶ 増減額、前期比：18/4期実績・19/4期計画比較

2Q Review

2018年改定

成長戦略

2Q Review

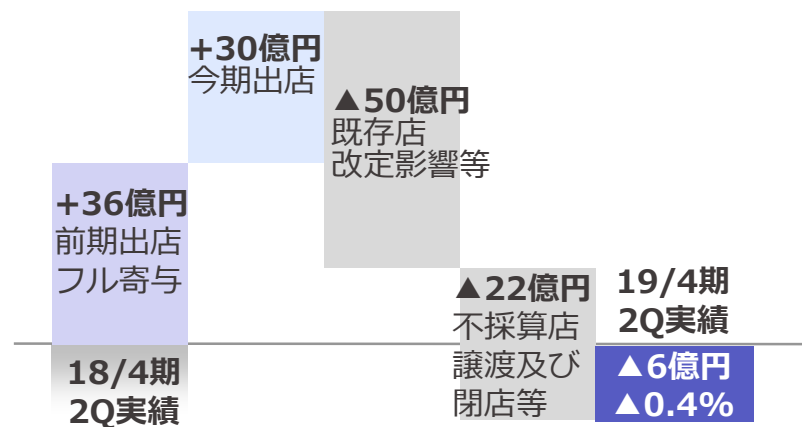


Review① (対前期)

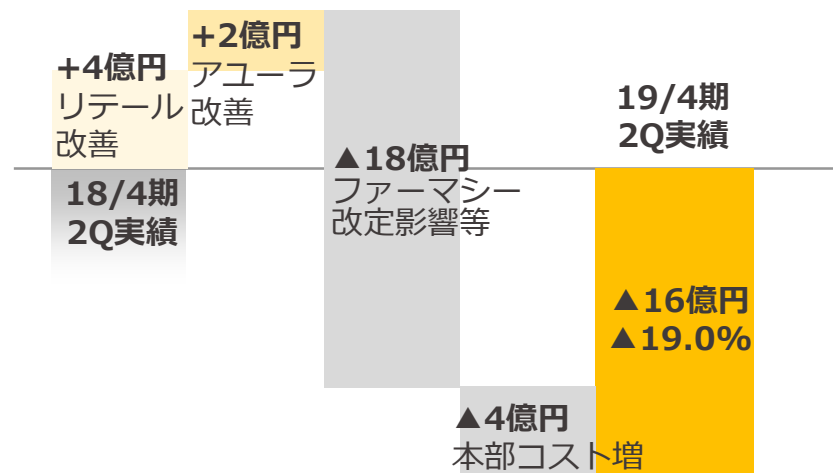
(単位：百万円)	18/4期2Q 実績	19/4期2Q 実績	前期 増減額	前期比 (%)
売上高	132,342	131,781	▲561	99.6
売上総利益 売上比 (%)	22,390 16.9	21,413 16.2	▲977	95.6
販売管理費 売上比 (%)	14,022 10.6	14,681 11.1	659	104.7
営業利益 売上比 (%)	8,367 6.3	6,731 5.1	▲1,636	80.4
経常利益 売上比 (%)	8,665 6.5	7,018 5.3	▲1,647	81.0

▶ 単位未満切り捨て

■ 売上高



■ 経常利益



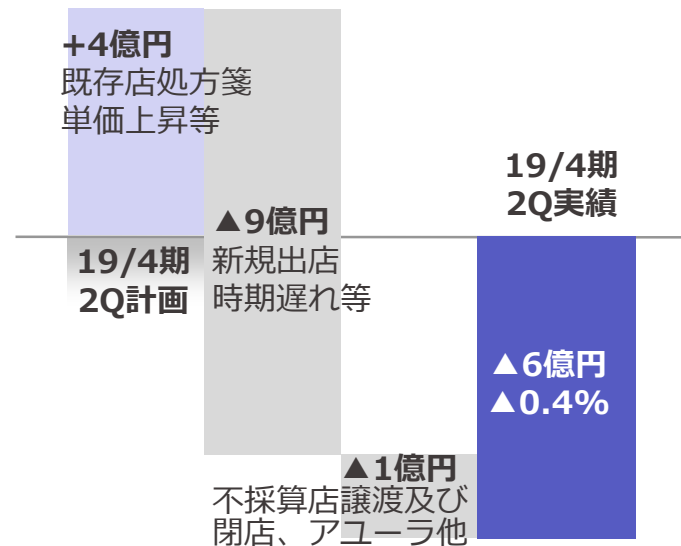


Review② (対計画)

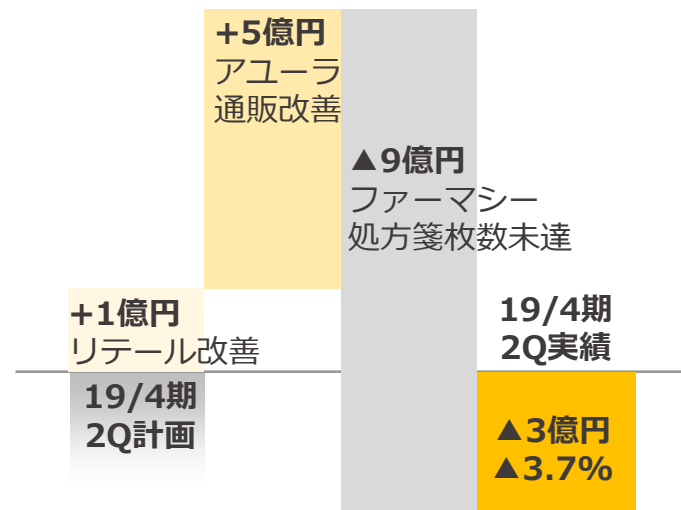
(単位：百万円)	19/4期2Q 計画	19/4期2Q 実績	計画 増減額	計画比 (%)
売上高	132,350	131,781	▲569	99.6
売上総利益 売上比 (%)	22,300 16.9	21,413 16.2	▲887	96.0
販売管理費 売上比 (%)	15,260 11.5	14,681 11.1	▲579	96.2
営業利益 売上比 (%)	7,040 5.3	6,731 5.1	▲309	95.6
経常利益 売上比 (%)	7,290 5.5	7,018 5.3	▲272	96.3

▶ 単位未満切り捨て

■ 売上高



■ 経常利益



2018年改定



18年改定内容

■ 調剤基本料 (区分要件追加)

- 1 41点
- 2 25点 4,000回超 集中率70%超 or 2,000回超 **集中率85%超** or 特定病院4,000回超
- 3-イ 20点 同一グループ4万回/月超 集中率85%超 or 医療機関との賃貸借契約
- 3-ロ 15点 同一グループ40万回/月超 集中率85%超 or 医療機関との賃貸借契約**
- 特別 10点 同一敷地内 (賃貸借等) 集中率95%超**

**年間調剤売上
約430億円以上の企業が該当**
全国平均処方箋単価8,898円 (2018年4月) 換算

■ 地域支援体制加算 (新設) 35点

基本料1の場合 在庫1,200品目 & 24h輪番 & 在宅 (1件/年)
 & かかりつけ薬剤師届出 & 管理薬剤師 (薬局経験5年・在籍1年・週32h勤務)

基本料1以外の場合 地域医療への貢献8項目の実績

■ GE調剤体制加算 (要件変更)

75-80% 18点 80-85% 22点 85%以上 26点

■ 薬剤服用歴管理指導料 (3区分)

41点 基本料41点 & お薬手帳持参 & 6カ月以内再来局
 53点 上記以外

13点 手帳を持参した患者の割合が50%以下の場合

1年間に常勤薬剤師1人当たり

- ①夜間・休日等の対応実績 400回
- ②麻薬管理指導加算の実績 10回
- ③重複投薬・相互作用等防止加算等の実績 40回
- ④かかりつけ薬剤師指導料等の実績 40回
- ⑤外来服薬支援料 12回
- ⑥服用薬剤調整支援料 (新設) の実績 1回
- ⑦単一建物内1人の在宅実績 12回
- ⑧服薬情報等提供料の実績 60回

■ かかりつけ薬剤師指導料 (要件変更)

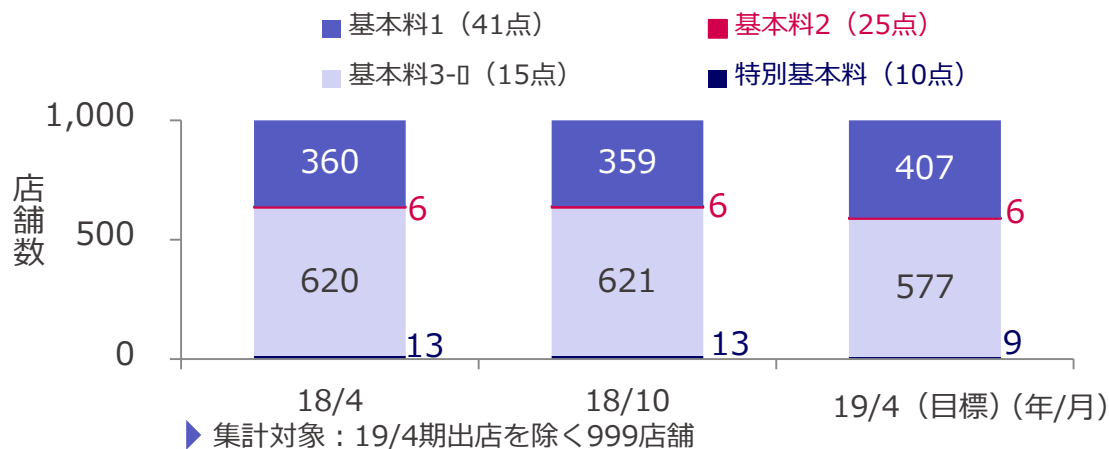
73点 患者同意 & 薬局経験3年・**在籍1年**・週32h勤務 & 研修認定 等



調剤基本料 地域支援体制加算

■ 調剤基本料

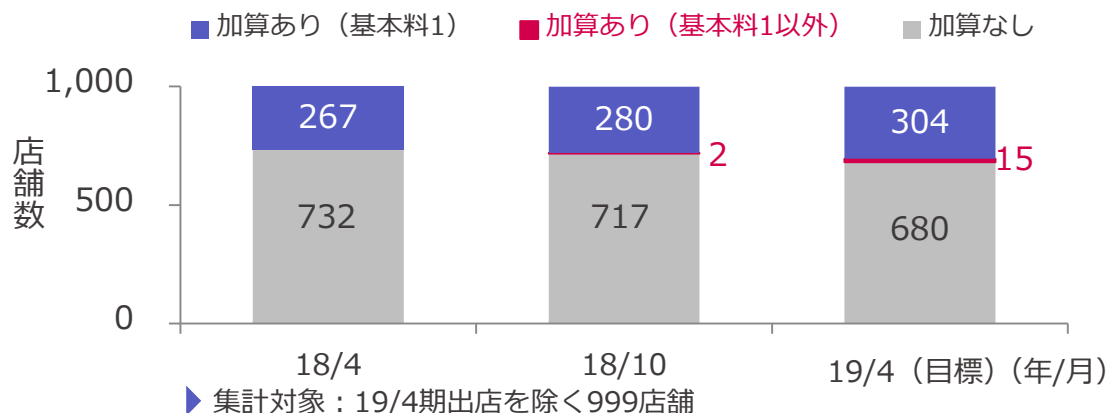
調剤基本料は、面処方応需やかかりつけ薬剤師指導等の施策を実施し、調剤基本料1への変更を推進する。



施策進捗状況	
基本料1 (41点)	29店舗がすでに基本料1の変更条件を満たしている ▶ 19/4月目標+47店舗
▶ 19/4目標：18/4月の基本料1との比較	

■ 地域支援体制加算

18/10月時点で地域支援体制加算を算定している店舗は+15店舗の282店舗となった。また、18/11月時点では、調剤基本料1以外に課せられる8項目をクリアした店舗は4店舗とさらに進捗している。



施策進捗状況	
加算あり (基本料1)	進捗：+13店舗 ▶ 19/4月目標+37店舗
加算あり (基本料1以外)	進捗：+4店舗 ▶ 19/4月目標+15店舗

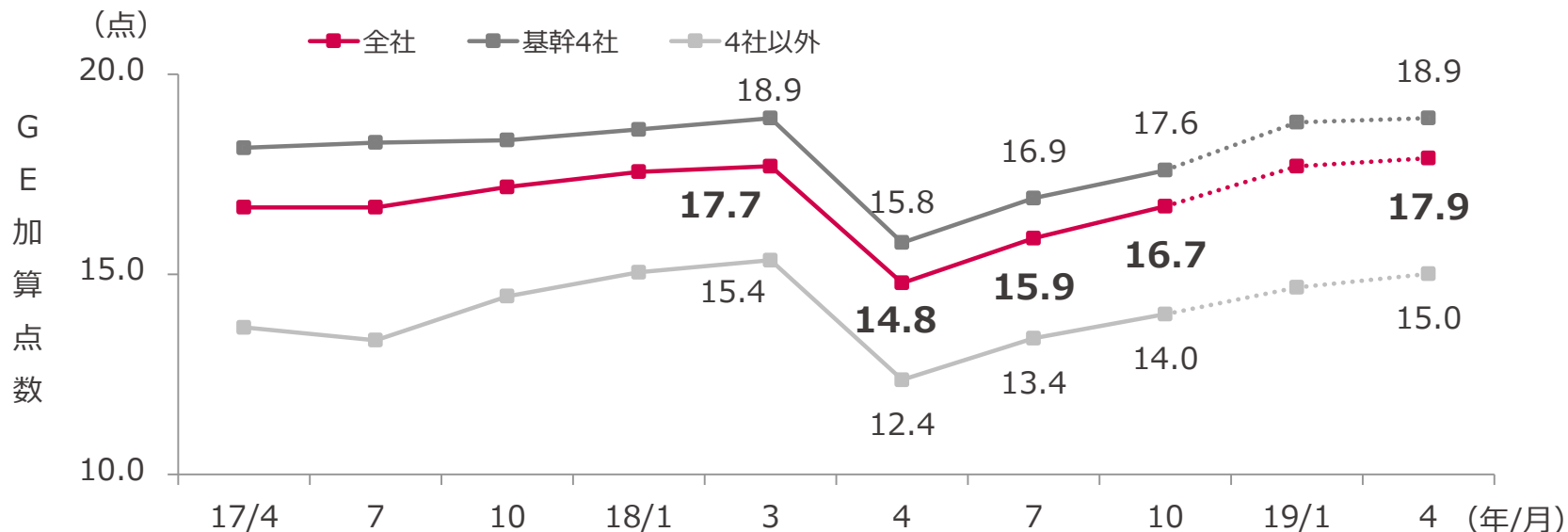
▶ 基本料1以外の進捗：18/11月時点
▶ 19/4目標：18/4月との比較



GE調剤体制加算

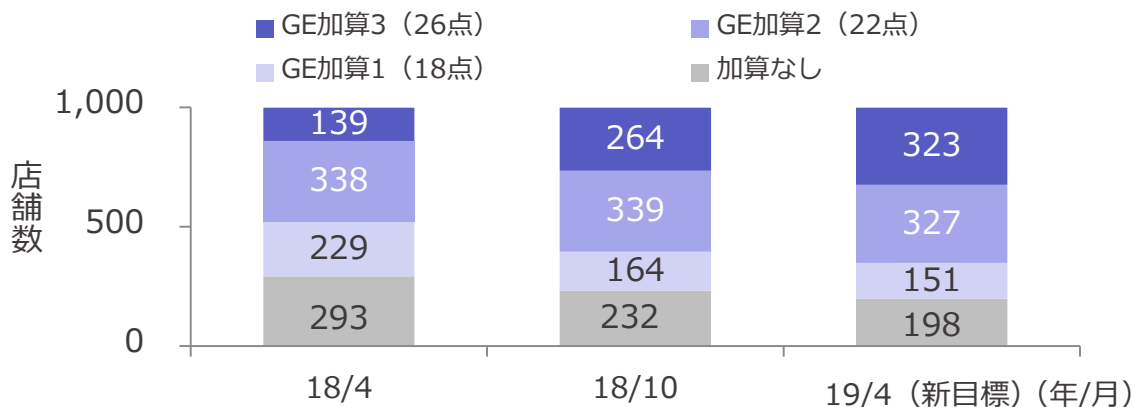
GE調剤体制加算は平均17.7点から改定直後は14.8点に低下したものの、18/10月時点で+1.9点の16.7点まで回復。また、GEのさらなる推進に向け、今期末目標点数を当初の17.0点から17.9点に上方修正する。

■ GE加算推移



▶ 基幹4社：アインファーマシーズ、アインメディオ、ダイチク、あさひ調剤

▶ 数量シェア：79.6% (18/10月時点)



施策進捗状況	
GE加算3	+125店舗
GE加算2	+1店舗
GE加算1	▲65店舗
加算なし	▲61店舗

▶ 進捗：18/4月・18/10月の比較

成長戦略



成長戦略

18年診療報酬改定は薬価の大幅引き下げや大手調剤薬局に向けたさらなる点数引き下げ等厳しい改定となった。今後も厳しい制度変更や規制緩和等になることを見据え、薬局機能の強化を図っていく。

■ トップライン

利便性の高い好立地への積極的な出店及び確実なM&Aで企業規模を拡大



■ 薬局機能の強化

地域支援体制やかかりつけ等、医薬分業の質を評価するKPIを意識した薬局機能の強化



■ 人材採用・育成

全社一丸の採用活動及び人材育成



■ アインズ&トルペの拡大

首都圏への積極的な出店及びブランディング強化によるPB比率・粗利改善





トップライン

19/4期2Qでは、新潟に拠点を置く(株)コム・メディカルがグループ入りしたため、出店数は計画を上回った。通期でも期初出店計画を大きく上回ると見込む。

■ 総店舗数

1,133店舗（ファーマシー1,081店舗、リテール52店舗）

■ 出退店計画及び実績

		19/4期2Q		18/12月 現在	19/4期 期初計画
		計画	実績		
ファーマシー	オーガニック	8	6	17	30
	M&A (EV/EBITDA倍率)	47	72	73 (4.79)	70
	リテール	4	4	4	7
出店合計		59	82	94	107
撤退	ファーマシー 閉店	15	7	10	17
	ファーマシー 譲渡	-	19	25	-
	リテール	-	-	-	-
撤退合計		15	26	35	17



▶ 17/4及び18/4期ファーマシー撤退内訳：閉店 63店舗、譲渡 34店舗

▶ EV/EBITDA倍率=EV (M&A：買収価格)/EBITDA (営業利益+減価償却費)



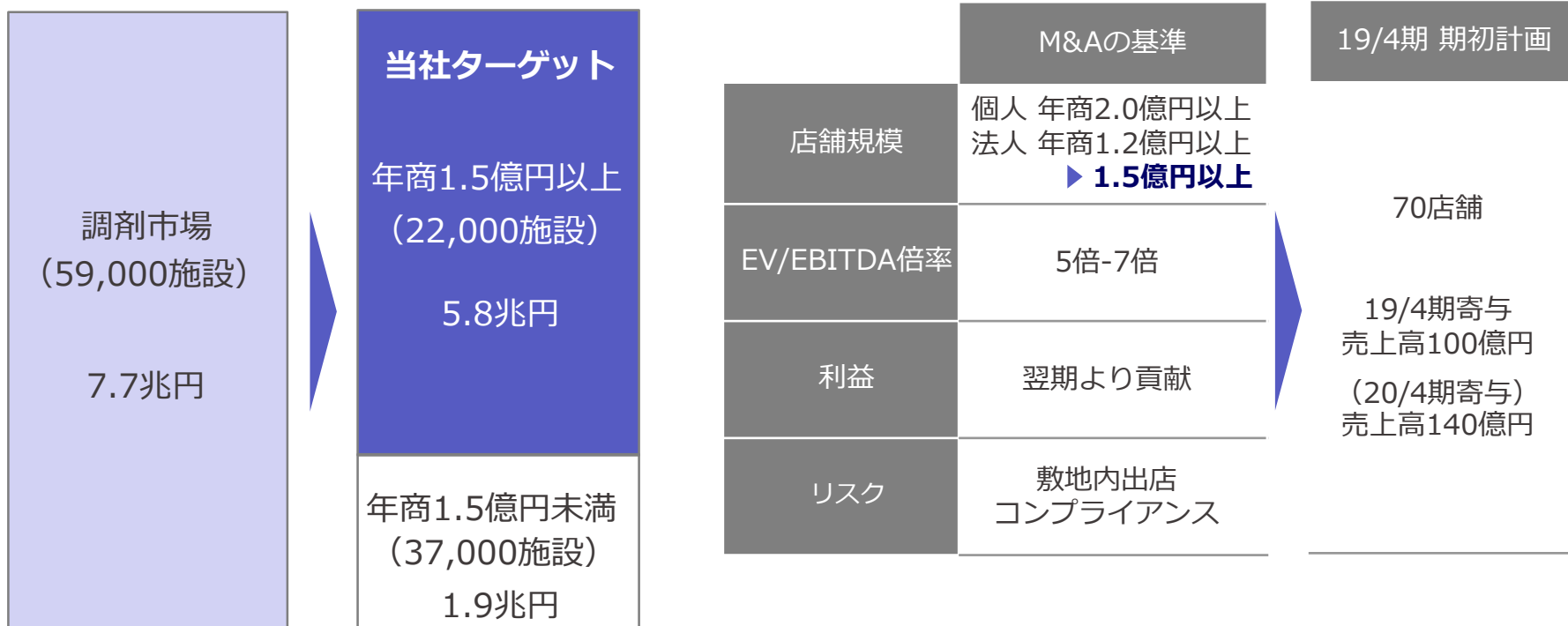
トップライン

後継者不在、薬剤師不足、18年改定及び事業継続への不安感等により個人、法人ともに当社のM&A基準に合致する案件は増加傾向にある。今後も引き続き積極的にM&Aを実施していく。

■ M&Aの推移

	10/4期	11/4期	12/4期	13/4期	14/4期	15/4期	16/4期	17/4期	18/4期	19/4期2Q
M&A店舗数	3	35	28	38	26	119	110	182	11	72
EV/EBITDA倍率	3.45	5.60	5.51	5.09	3.94	4.77	5.37	5.50	3.96	4.79

■ ターゲット及びM&Aの基準

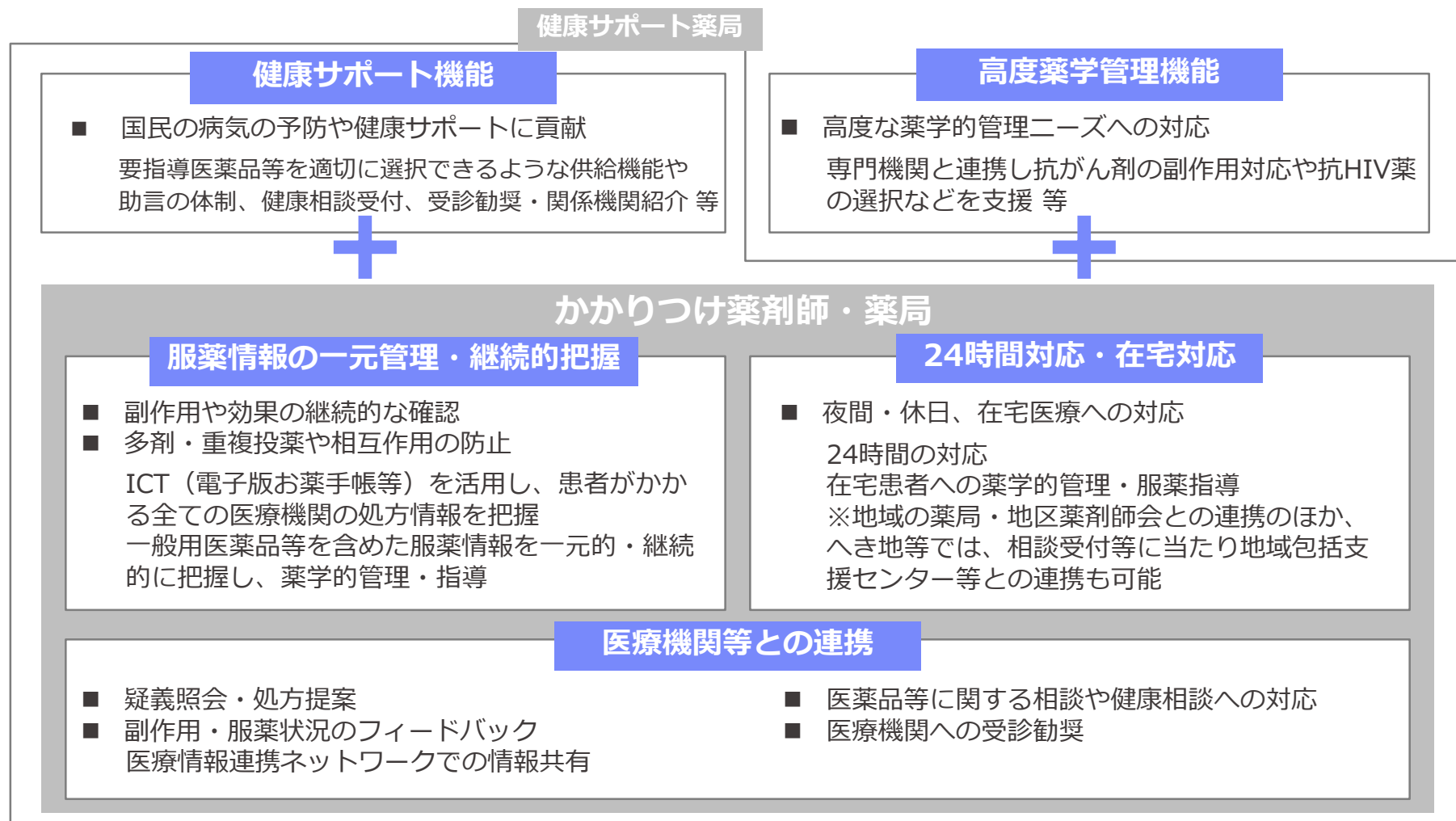


▶ 厚生労働省 最近の調剤医療費の動向（17年度）月次報告より当社推計



薬局機能の強化

■ 患者のための薬局ビジョン (2015年10月23日厚生労働省)





薬局機能の強化

「患者のための薬局ビジョン」で示された薬局機能をベースに機能強化を推進していく。また、今後さらなる機能強化を図っていく上では、医療機関との連携が最重要であることから門前や敷地内薬局が最適のロケーションとなる。

健康サポート薬局

健康サポート機能

地域の中核薬局と病院が
連携した健康サポート



高度薬学管理機能

専門性の高い薬剤師と設備
地域中核病院と連携した高度医療の提供



かかりつけ薬剤師・薬局

服薬情報の一元管理・継続的把握

かかりつけ薬局 **919**店舗
(前期比 103%)

かかりつけ実績 **47万**件
(前期比 96%)

24時間対応・在宅対応

24時間対応 **全**店舗

在宅実績 **9万**件
(前期比 104%)

医療機関等との連携

重複投薬・相互作用等防止加算

14万件 (前期比 113%)

服薬情報等提供料
(トレーシングレポート)

1万6千件 (前期比 343%)

服用薬剤調整支援料
(ポリファーマシー)

89件

▶ 19/4期2Q累計実績

▶ 24時間対応：グループ入り間もない店舗等の一部店舗を除く



人材採用

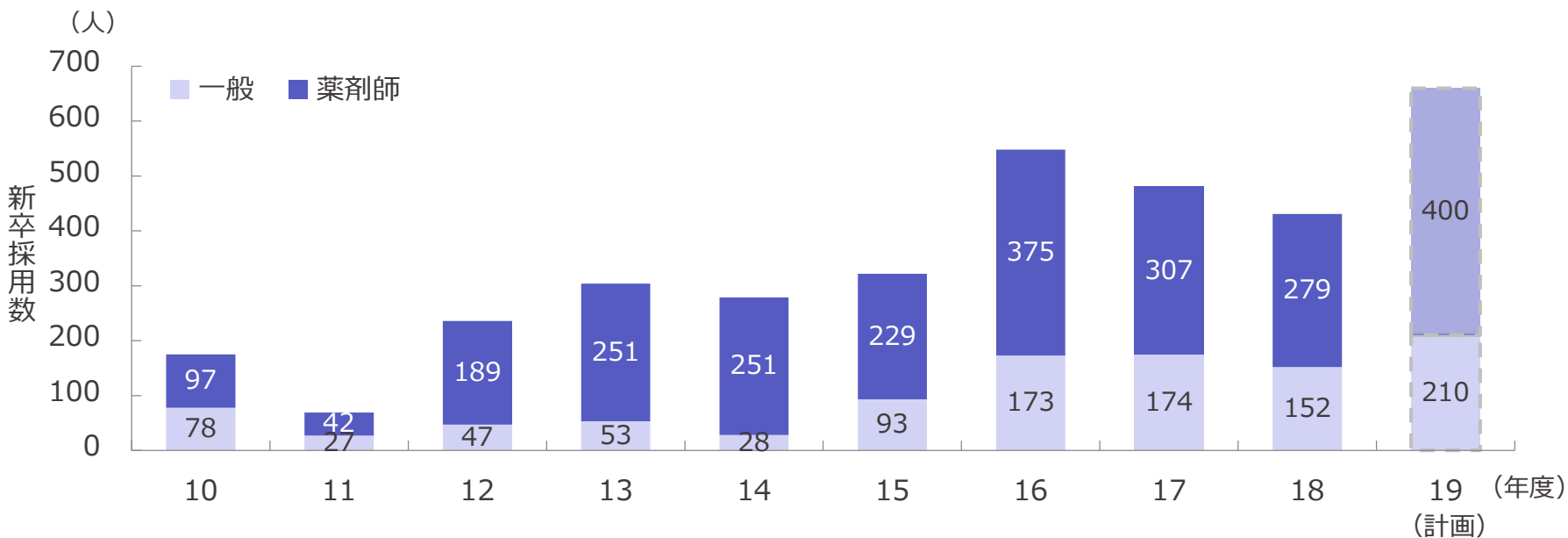
18/4月の新入社員は431人（薬剤師279人、一般152人）であった。19/4月入社に向けて内定者は、薬剤師344人、一般222人となっている。

■ 新卒採用数と国家試験合格率推移

(年度)

(単位：人)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
当社新卒薬剤師数	97	42	189	251	251	229	375	307	279	344 (内定者数)
国家試験合格者 (合格率)	3,787 (56.4%)	1,455 (44.4%)	8,641 (88.3%)	8,929 (79.1%)	7,312 (60.8%)	9,044 (63.2%)	11,488 (76.9%)	9,479 (71.6%)	9,584 (70.6%)	- (-)
当社入社率 (薬局就職者に占める割合)	2.6% (-)	2.9% (-)	2.2% (5.7%)	2.8% (7.0%)	3.4% (8.0%)	2.5% (8.0%)	3.3% (11.7%)	3.2% (10.0%)	2.9% (8.0%)	- (-)

▶ 当社実績、厚生労働省データ及び薬学教育協議会資料より当社推計





アインズ&トルペの拡大①

事業年度 00/4期 02/4期 04/4期 06/4期 08/4期 10/4期 12/4期 14/4期 16/4期 18/4期 20/4期 22/4期

出店戦略

アインズ&トルペ
1号店出店



札幌地下街

全国展開開始



原宿クエスト

インショップへの展開
セブン&アイグループへの出店



池袋西武

駅ナカへの展開



東京駅

首都圏 旗艦店



新宿東口

ビューティー
複合ビル



ル・トロワ



京王百貨店新宿

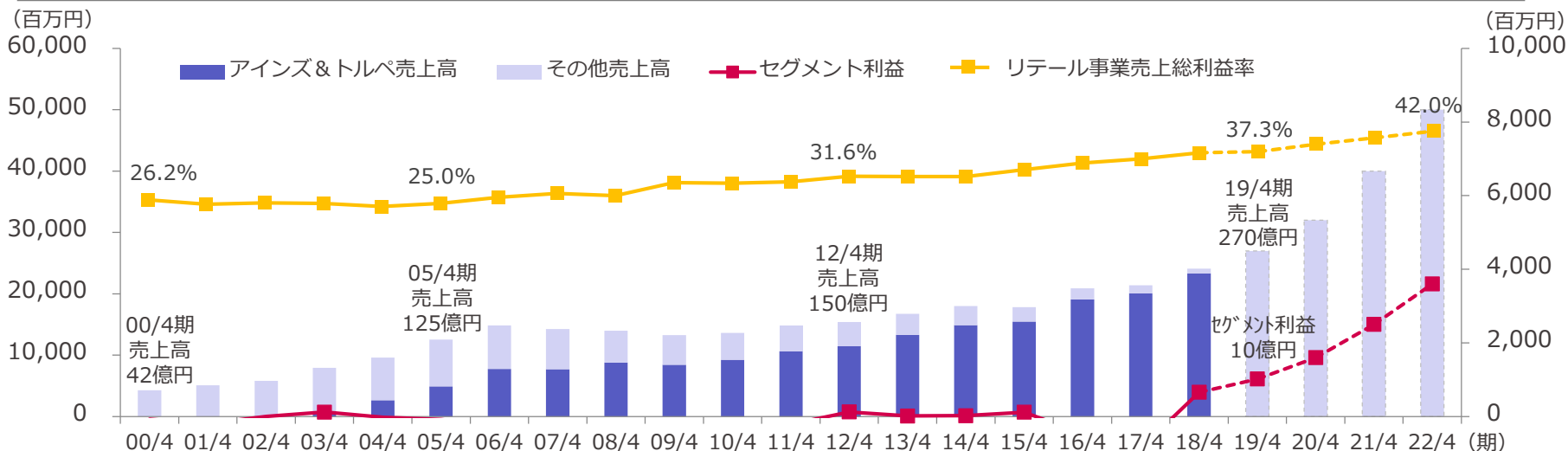


渋谷公園通り

札幌地下街店
リニューアル



札幌地下街



売上高(億円)	42	50	58	79	95	125	148	142	139	132	136	148	153	167	179	178	208	213	241	270	320	400	500
セグメント利益(億円)	0	▲1	0	1	0	▲1	▲2	▲2	▲4	▲2	▲4	▲2	1	0	0	1	▲4	▲8	6	10	-	-	-
総店舗数	30	36	33	40	27	44	43	43	45	46	49	53	56	61	59	56	52	52	48	55	65	80	100
アインズ&トルペ数	0	0	0	1	4	9	12	13	15	18	20	26	33	39	41	41	42	45	41	50	59	72	90
閉店数	0	0	5	7	16	0	4	3	1	4	2	2	4	2	5	6	9	9	8	-	-	-	-
会員数(百万人)	-	-	0.0	0.0	0.0	0.1	1.0	1.2	1.5	1.7	2.0	2.2	2.5	2.9	3.2	3.6	4.2	4.6	4.9	-	-	-	-



アインズ&トルペの拡大②

台風や北海道胆振東部地震の影響を受けたものの、首都圏における認知度向上等により売上高は好調に推移している。また、業務効率化や仕入れの見直し等の施策も貢献し、利益率は大幅に改善した。

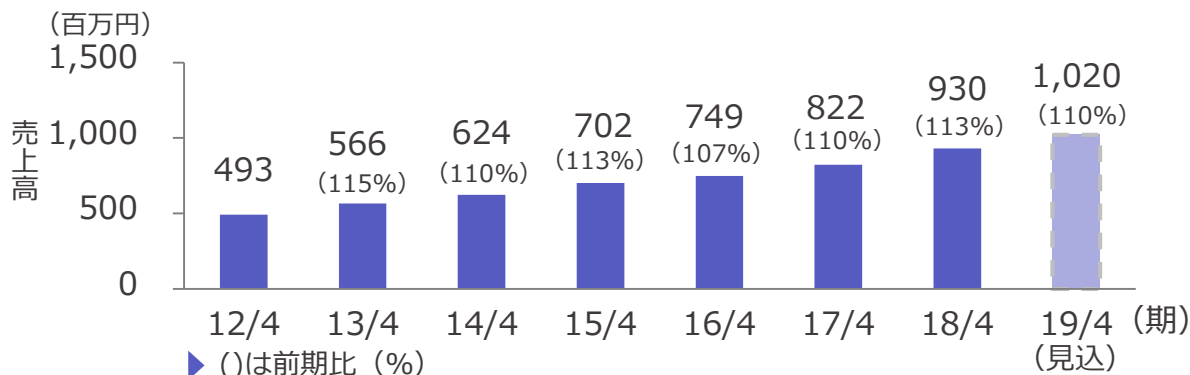
■ 地域別検証

(単位：百万円)	札幌圏				首都圏			
	18/4期2Q	19/4期2Q	前期増減額	前期比(%)	18/4期2Q	19/4期2Q	前期増減額	前期比(%)
売上高	4,312	4,164	▲148	96.6	6,513	7,773	1,260	119.3
経常利益	284	339	55	119.4	56	445	389	794.6
売上比(%)	6.6	8.1			0.9	5.7		

■ 首都圏店舗事例

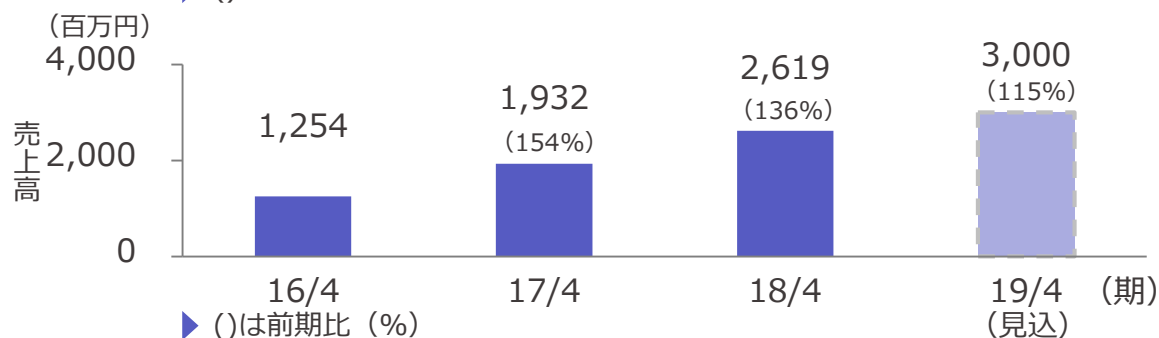
アインズ&トルペ 東京駅店

出店時期	10/10月
売場面積	130坪
SKU	16,000



アインズ&トルペ 新宿東口店

出店時期	15/7月
売場面積	240坪
SKU	23,000





19/4期計画（連結）

19/4期はファーマシー事業100店舗、リテール事業7店舗の新規出店により、売上高は前期比101.7%、経常利益は診療報酬改定の影響により前期比89.4%を見込む。

(単位：百万円)	17/4期 実績	18/4期 実績	19/4期 計画	増減額	前期比 (%)
売上高	248,110	268,385	272,870	4,485	101.7
売上総利益	42,092	47,993	48,040	47	100.1
売上比 (%)	17.0	17.9	17.6		
販売管理費	27,529	28,370	30,540	2,170	107.6
売上比 (%)	11.1	10.6	11.2		
営業利益	14,563	19,622	17,500	▲2,122	89.2
売上比 (%)	5.9	7.3	6.4		
経常利益	15,080	20,129	18,000	▲2,129	89.4
売上比 (%)	6.1	7.5	6.6		
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,949	10,567	9,260	▲1,307	87.6
売上比 (%)	3.2	3.9	3.4		
1株当たり 当期純利益 (円)	250.71	310.08	261.38	▲48.70	84.3
年間配当金 (円)	50.00	50.00	55.00	5.00	110.0

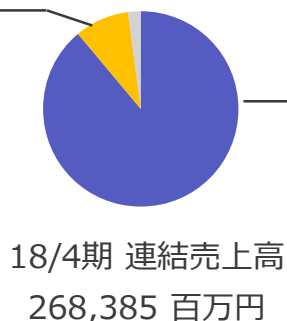
▶ 単位未満切り捨て ▶ 増減額、前期比：18/4期実績・19/4期計画比較

参考資料



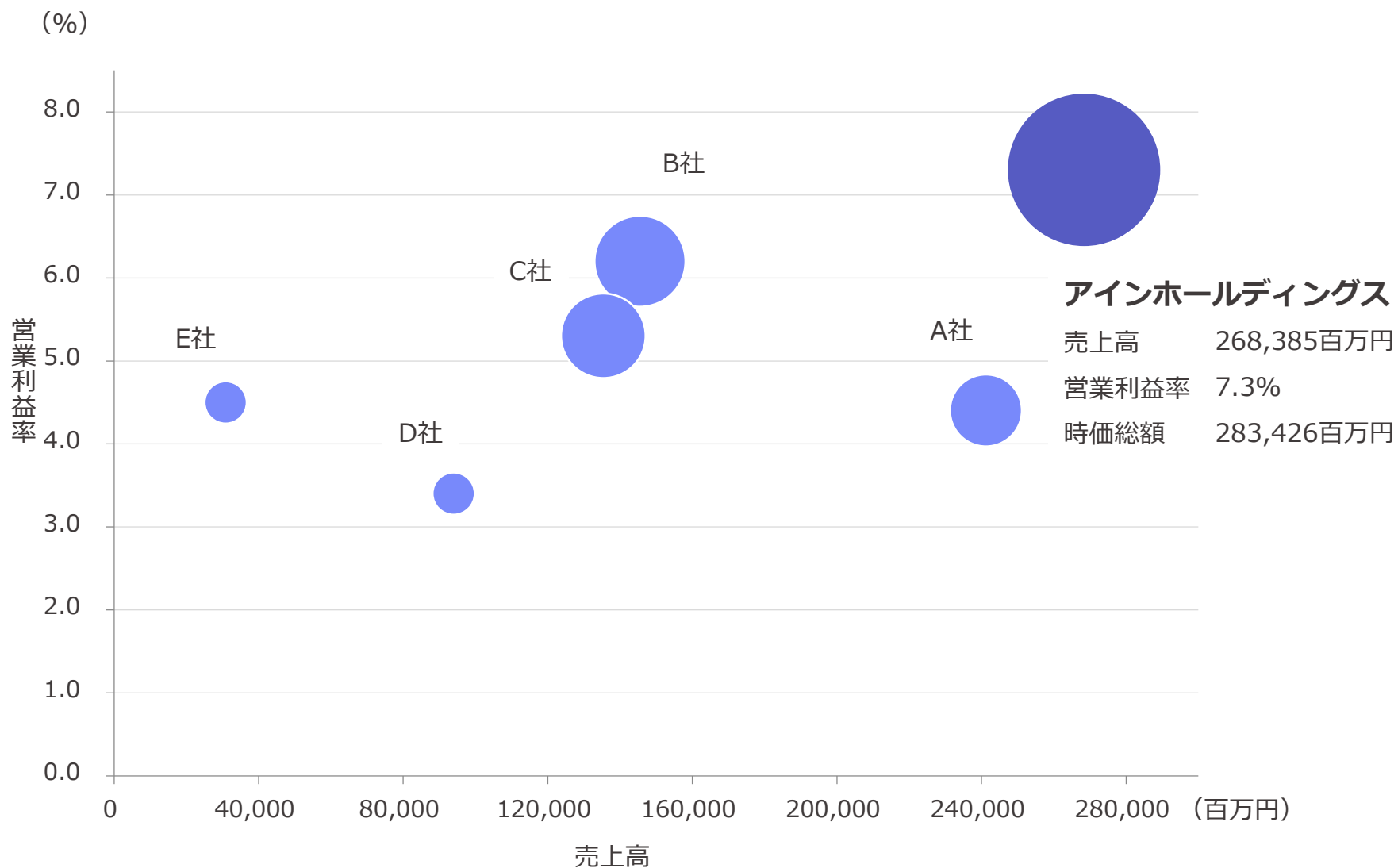
会社概要

商号	株式会社アインホールディングス
代表者	代表取締役社長 大谷喜一
設立	1969年8月
時価総額	283,426百万円 2018/12/6時点
売上高及び利益	売上高 268,385百万円 営業利益 19,622百万円 18/4期末
売上構成	ファーマシー事業 238,645百万円、リテール事業 24,117百万円、その他事業 5,623百万円
従業員数	9,603人（嘱託、パート含） 内薬剤師：4,457人（連結延人数） 18/4期末 18/4期末
グループ会社	《調剤及び医薬品等の販売業》 (株)アインファーマシーズ 他65社 《人材派遣業》 《医療コンサルティング業》 (株)メディウエル、医療開発(株) 《後発医薬品卸業》 (株)ホールセールスターズ 18/4期末
店舗数	1,077店舗（調剤薬局1,029舗、コスメ&ドラッグストア48店舗） 18/4期末





他社比較



▶ 各社18/3期決算短信を基に作成 (当社18/4期) ▶ 円の大きさは2018/12/6時点の時価総額に比例

本件に係る照会先

**株式会社アインホールディングス
経営企画室**

TEL011-814-0010

FAX011-814-5550

<https://www.ainj.co.jp/>

事前に株式会社アインホールディングスの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。



AIN GROUP